

次期いきいき長寿プランの基本的な考え方について(案)

基本目標：高齢者がいきいきと、安心して、暮らせる共生のまちづくり ～人生100年時代の到来～

目標	施策の方向性	分野別会議での主な意見等
<p>いきいきと健康で、生涯現役で活躍できるまち</p> <p>高齢者が年齢に関わりなく、健康で、その能力を十分に発揮し、「支えられる側」ではなく「支える側」として活躍できる社会づくりを進める。</p>	<p>生きがい・社会参加・地域貢献の推進</p> <p>「生きがいづくり」や「社会参加」を支援するとともに、自分の役割・できることを意識した主体的な行動を促し、地域貢献につながる展開を推進する。</p> <p>主体的な健康づくり・介護予防の促進</p> <p>人生100年時代の安心の基盤は「健康」であることから、健康づくり・介護予防に関する正しい知識・普及とともに、取り組みのきっかけの提供、継続できる仕組みを構築し、専門職と連携し、本人の主体的な活動を促進する。</p>	<p>地域福祉活動に興味をもつ人と、ニーズのマッチング</p> <p>地域の元気な高齢者(特に男性)へのきっかけづくりの提供</p> <p>地域活動において、高齢者をお客様にしない取組の後押し</p> <p>誰もが気軽に参加できる「通いの場」等の介護予防活動の検討</p> <p>専門職がしっかりと連携した効果的な介護予防の検討</p> <p>介護予防教室の参加者のつなぐ先の検討</p>
<p>高齢者と家族、地域がつながり、支え合うまち</p> <p>「見守る側」「見守られる側」に分かれるのではなく、誰もが多方面につながりを持ち、それぞれができる範囲で支え合い、居場所と役割をもつコミュニティづくりを進める。</p>	<p>見守り合い・支え合いの地域づくり</p> <p>誰もが見守りの担い手となり、互いに気軽に相談でき、支え合いができる地域づくりを推進する。</p> <p>総合的な認知症対策の推進</p> <p>認知症に対する理解を深め、不安を払拭するとともに、認知症本人の意思が尊重され、出来るかぎり、自分らしく暮らし続けることができる仕組みづくりを推進する。</p> <p>家族介護者への支援</p> <p>高齢者の介護を担う家族(家族介護者)の孤立感をなくし、介護者を理解し、支える社会の実現にむけた啓発を行うとともに、家族介護者の不安や負担の軽減につながるような支援策を推進する。</p>	<p>互助、共助の必要性の理解の促進、周知</p> <p>顔の見える関係、専門職だけではない地域住民の関係づくりの検討</p> <p>相談しやすく、偏見がない社会を進めるための啓発</p> <p>認知症サポーターの具体的な活動の場の検討</p> <p>認知症の人本人の発信(認知症とともに生きる希望宣言)や就労など、当事者が活躍できる場の検討</p> <p>若い人も対象にした認知症に関する啓発の検討</p> <p>当事者への声のかけ方や見守り方を学ぶ場の検討</p> <p>複合的な課題(ヤングケアラー、ダブルケア等)を抱えた家族への対応</p>
<p>住みたい場所で安心して暮らせるまち</p> <p>人生の最終段階において、個人がそれぞれの状態に応じて、必要な生活支援、介護などのサービスを活用しながら、住みたい場所で安心して暮らせることを目指す。</p>	<p>身近な相談と地域支援体制(医療・介護の連携等)の強化</p> <p>地域包括ケアシステムの深化に向け、高齢者やその家族が、気軽に相談できるよう、多職種連携を図りながら、相談支援体制づくりを進める。</p> <p>介護サービス等の充実</p> <p>何らかの支援や介護が必要な状態になっても、安心して生活できるよう、希望する介護サービスの安定的な提供、介護を担う人材の確保育成に取り組む。</p> <p>権利擁護・虐待防止の充実・強化</p> <p>認知症高齢者等の権利や財産を守るとともに、虐待の早期発見から迅速かつ適切な対応・継続的な見守りまでの一貫した取組を推進する。</p> <p>安心して生活できる環境づくり</p> <p>個人の希望に沿った多様な住まい、ライフスタイルを実現できるような環境づくりを推進する。</p>	<p>相談体制の強化</p> <p>在宅医療・介護の連携強化</p> <p>地域ケア会議の充実</p> <p>真に必要な介護サービス水準の設定</p> <p>制度を持続可能とする介護保険料の設定</p> <p>人材確保、定着に向けた職場環境改善の検討</p> <p>介護人材育成のため、効果的な研修プログラムの検討</p> <p>虐待防止に関して、内容を工夫した幅広い研修の実施</p> <p>権利擁護について、学ぶ場、議論の場の提供</p> <p>施設等における虐待防止の取組、通報をためらわない仕組みづくり</p> <p>免許証返納後や交通利便性が悪い場合の移動手段の確保</p> <p>高齢者のデジタルスキルの向上</p>
<p>感染予防と暮らしの両立～Withコロナの取組～</p>	<p>感染予防に配慮しながら各種事業の実施方法を検討し、継続する。</p>	<p>感染予防しながら、寄り添い・つながる支援の検討</p> <p>感染拡大による影響の実態を把握したうえでの施策の検討</p> <p>オンラインによる各種事業の検討(高齢者のデジタルスキルの向上)</p>